

国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 飛鳥区域について

令和2年12月
国営飛鳥歴史公園事務所

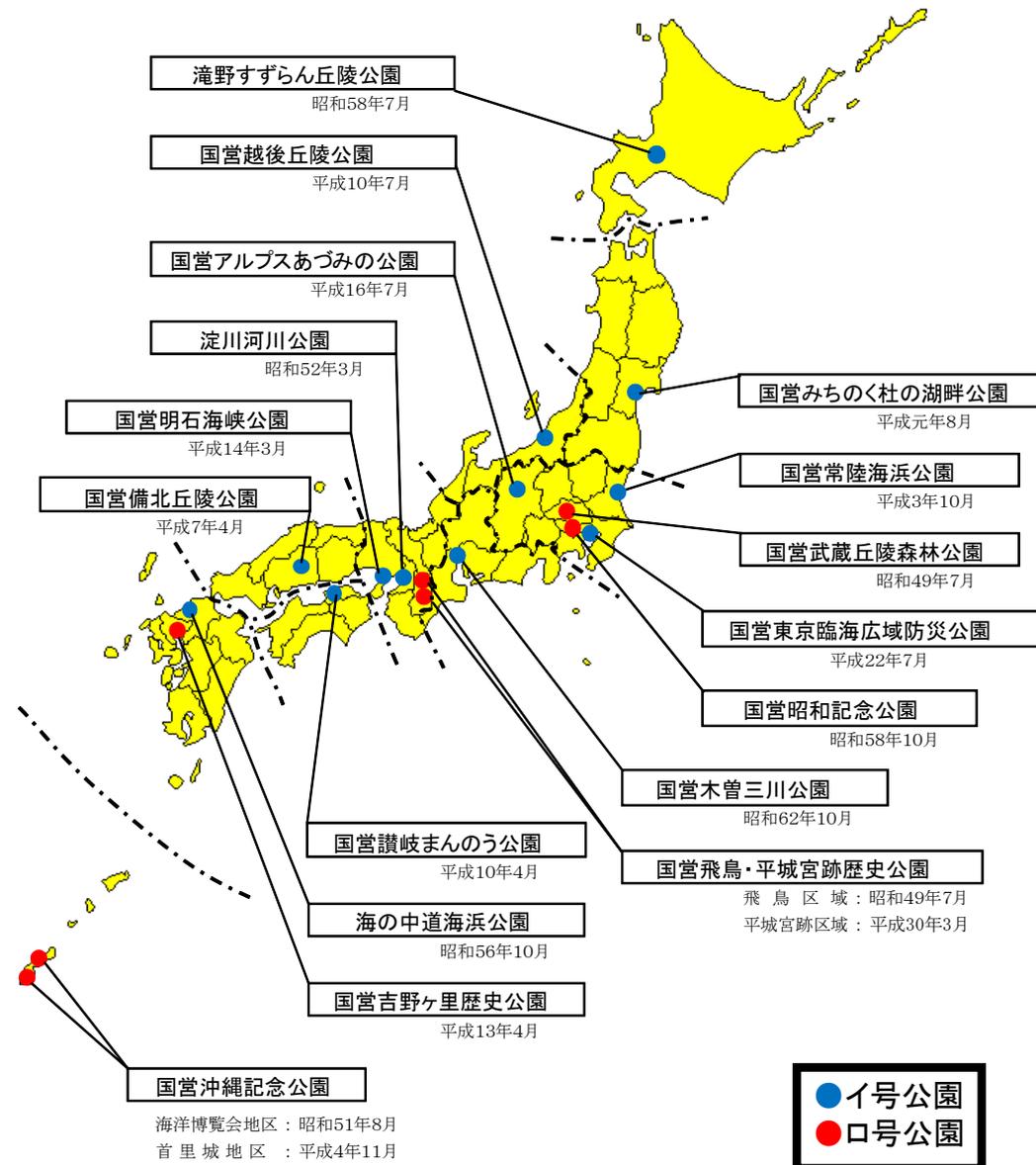
国営公園の概要

■現在、国において17箇所の国営公園の整備及び管理を実施

- 一の都府県の区域を超えるような広域の見地から設置されるイ号公園（12ヶ所）
- 国家的な記念事業又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため閣議の決定を経て設置されるロ号公園（5ヶ所）

■ロ号公園における閣議決定

公園名（地区名）		閣議決定	案件名
国営武蔵丘陵森林公園		昭和43年 10月18日	明治百年記念事業として行う国営森林公園の設置
国営飛鳥・平城宮跡歴史公園	祝戸地区 石舞台地区 甘樫丘地区	昭和45年 12月18日	飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について
	高松塚周辺地区	昭和51年 10月29日	飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策の一環としての都市公園の整備について
	キトラ古墳 周辺地区	平成13年 3月16日	飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策の一環としての都市公園の整備について
	平城宮跡区域	平成20年 10月28日	我が国固有の優れた文化的資産である平城宮跡の保存及び活用を図るための都市公園の整備について
国営沖縄記念公園	海洋博覧会地区	昭和50年 7月15日	沖縄国際海洋博覧会を記念する公園の設置
	首里城地区	昭和61年 11月28日	沖縄復帰記念事業として行う都市公園の整備
国営昭和記念公園		昭和54年 11月30日	天皇陛下御在位五十年記念事業として行う国営昭和記念公園の設置
国営吉野ヶ里歴史公園		平成4年 10月27日	我が国固有の優れた文化的資産である吉野ヶ里遺跡の保存及び活用を図るための都市公園の設置について



国営飛鳥・平城宮跡歴史公園の概要

「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園」は、我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため設置された国営公園であり、飛鳥区域(奈良県高市郡明日香村)と平城宮跡区域(奈良県奈良市)の2区域から構成される。

■位置図



■設置経緯

昭和45年 (1970年)	<ul style="list-style-type: none"> 以下の3地区の設置に関する閣議決定 <ol style="list-style-type: none"> ① 石舞台地区(飛鳥区域) ② 甘櫨丘地区(飛鳥区域) ③ 祝戸地区(飛鳥区域)
昭和51年 (1976年)	<ul style="list-style-type: none"> 国営公園制度の確立(都市公園法改正) →上記3地区が「国営飛鳥歴史公園」となる。 高松塚周辺地区(飛鳥区域)の設置に関する閣議決定
平成13年 (2001年)	<ul style="list-style-type: none"> キトラ古墳周辺地区(飛鳥区域)の設置に関する閣議決定
平成20年 (2008年)	<ul style="list-style-type: none"> 平城宮跡区域の設置に関する閣議決定 →「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園」となる。

飛鳥区域の概要

飛鳥区域(国営飛鳥歴史公園)は、飛鳥地方の歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策の一環として整備を進め、祝戸、石舞台、甘樫丘、高松塚周辺の4地区(46.1ha)が平成6年までに概成開園。また、平成13年に閣議決定で追加されたキトラ古墳周辺地区(13.8ha)も平成28年に開園。

●甘樫丘地区● 25.1ha (S55.4供用)

蘇我蝦夷・入鹿の邸宅があったとされる甘樫丘に、飛鳥古京・大和三山が望める展望広場や散策園路を設置。



甘樫丘展望台



●石舞台地区● 4.5ha (S51.8供用)

蘇我馬子の墓と伝えられる石舞台古墳を中心に、周囲の棚田地形を活かした芝生広場などを整備。



石舞台古墳



●高松塚周辺地区● 9.1ha (S60.10供用)

飛鳥を代表する壁画古墳である高松塚古墳の周辺を環境整備。



高松塚古墳

●キトラ古墳周辺地区● 13.8ha (H28.9供用)

キトラ古墳周辺環境の保全・体験学習の場を整備。



四神の館

●祝戸地区● 7.4ha (S51.8供用)

飛鳥古京や棚田を一望できる展望台のほか、研修宿泊所「祝戸荘」を配置。



祝戸荘
(研修宿泊所)

飛鳥区域における公園利用と管理の概要

○明日香村や地域の観光団体、商工会と連携した協働イベントの開催等により、公園の利用促進、歴史的風土・文化の活用に取り組んでいる。

また、飛鳥地域の美しい里山景観を保全・創出するため、万葉植物などで花修景を行い、来訪者に飛鳥らしい風景を楽しんでいただく取組を行っている。



古都飛鳥の歴史・文化を体感していただく蹴鞠行事



地域の団体と連携しながら、夏祭りや収穫行事を開催



ロウソクの炎で描いた『光の回廊』は公園だけでなく村全体で開催



飛鳥らしい風景の保全・創出のための万葉植物による花修景

祝戸地区の概要

- 祝戸地区は、飛鳥古京の南側にある通称ミワ山及びフグリ山の一带と、それに続く山麓の一部に位置。地区内には研修宿泊所「祝戸荘」が設けられているほか、大和三山を背景にして広がる飛鳥古京や、奥飛鳥と呼ばれる稲淵地区の見事な棚田風景を一望の下に望める展望台、北東の石舞台地区に繋がる散策園路などを整備。



面積:7.4ha



展望台から飛鳥古京を臨む



日本の棚田百選にも選ばれている稲淵の棚田



宿泊研修施設祝戸荘



彼岸花の咲く9月に行くかかしロード

飛鳥区域における近年の取組み

- ▶ 平成28年9月に開園したキトラ古墳周辺地区をはじめ、各地区において、飛鳥の歴史的風土の保全・活用を図るとともに、歴史をテーマとした体験プログラムなど多様なイベントを展開している。

○キトラ古墳周辺地区 開園後の入園者数 (単位:千人)

来園者数(H28年9月開園～令和2年3月末)	615
うち壁画公開日来園者数※	281
うち壁画観覧者数	125
うち壁画公開日以外の来園者数	334

※壁画公開日は、これまで全14回実施。

○その他の主な取組み

- ▶ 明日香村など地域と連携した地域イベントの実施



古都飛鳥文化祭(2018)



飛鳥光の回廊(2018)



キトラ古墳体験館 四神の館での展示



キトラ古墳壁画特別公開

- ▶ 明日香村の教育旅行、修学旅行や遠足などによる利用促進



教育旅行の入校式(石舞台)

- ▶ 飛鳥の歴史的風土を保全・活用するボランティア活動の展開



公園ボランティア「飛鳥里山クラブ」による里山保全活動(甘樫丘)



勾玉づくり



キトラの田んぼでの稲刈り

(参考)明日香村における歴史的風土保存等の取組の経緯

年	事 項
昭和41年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古都保存法の制定（議員立法） ○ 明日香村を同法に基づく「古都」に指定
昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について」閣議決定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的風土及び文化財の保存措置：歴史的風土保存区域等の拡張 ・ 保存措置に伴う環境の整備 道路・河川・ごみ処理場等の整備、国営飛鳥歴史公園・歴史資料館等の整備、飛鳥保存財団の設置
昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高松塚周辺地区が国営公園として整備決定（閣議決定）
昭和54年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「明日香村における歴史的風土の保存と地域住民の生活との調和を図るための方策について」諮問（内閣総理大臣→歴史的風土審議会） ○ 特別の立法措置の必要性等について答申
昭和55年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「明日香法」（明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法）の制定 ○ 同法に基づき「第1次明日香村整備計画」の策定（～平成元年度まで）
平成2年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2次明日香村整備計画の策定（～平成11年度まで）
平成12年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3次明日香村整備計画の策定（～平成21年度まで） ○ 「明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金」を創設
平成13年	<ul style="list-style-type: none"> ○ キトラ古墳周辺地区が国営公園として整備決定（閣議決定）
平成22年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4次明日香村整備計画の策定（～平成31年度まで）
令和2年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5次明日香村整備計画の策定（～令和11年度まで）

祝戸地区の既存宿泊施設 「祝戸荘」について

令和2年12月
国営飛鳥歴史公園事務所

祝戸荘の概要①

○ 祝戸荘は、昭和45年の閣議決定に基づき、国営飛鳥歴史公園祝戸地区において、(公財)古都飛鳥保存財団により整備・管理されている、研修宿泊施設である。

■位置

奈良県高市郡明日香村祝戸303 (国営飛鳥歴史公園祝戸地区内)

■面積

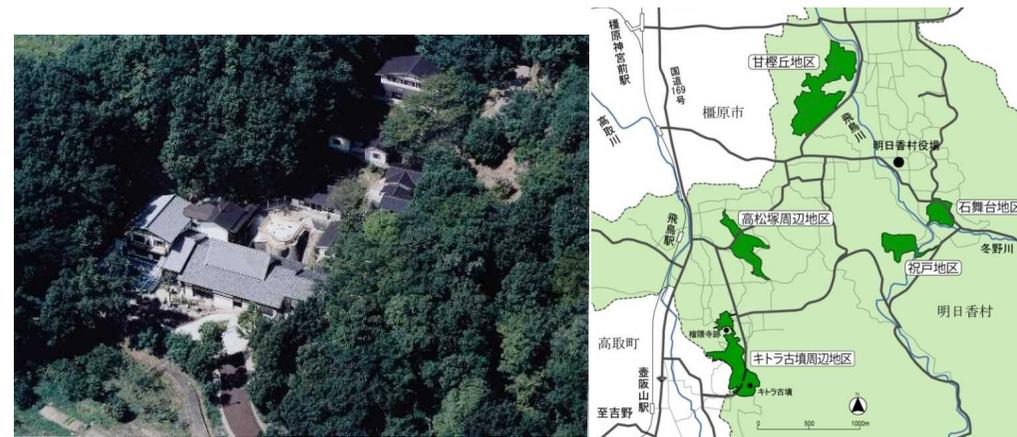
- ・ 国営飛鳥歴史公園祝戸地区面積 74,000m²
- ・ 祝戸荘 敷地面積 3,153m²
- ・ 祝戸荘 総延床面積 1,666m²

■施設整備・管理運営・所有者

公益財団法人 古都飛鳥保存財団

■開業・改修時期

- ・ 昭和49年3月 祝戸荘 竣工・開業
- ・ 平成19年10月 改修・リニューアルオープン

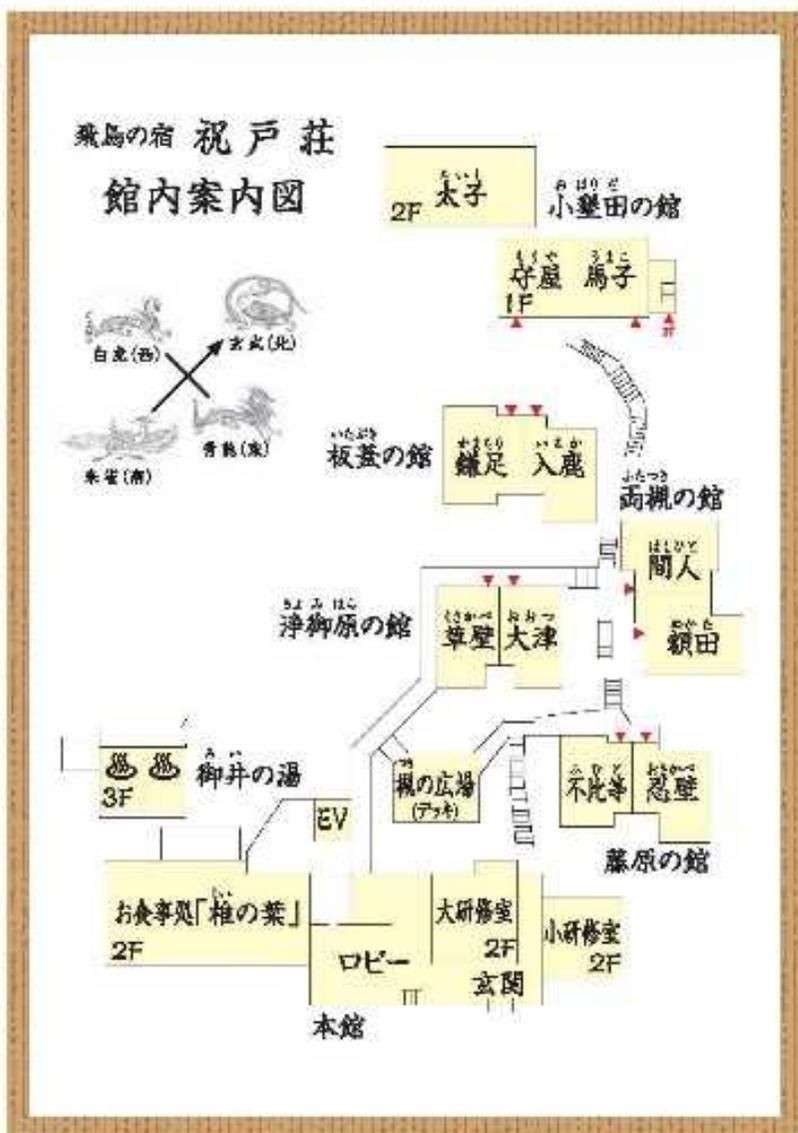


祝戸地区



祝戸荘の概要②

○ 建物は研修棟、宿泊棟(5棟)、食堂浴場棟の計7棟からなる。



■ 研修棟(本館)

- ・ 構造 鉄筋コンクリート造瓦葺
- ・ 階数 2F
- ・ 収容人数 大研修室 60名
小研修室 20名
- ・ 延床面積 499.45㎡



■ 食堂浴場棟

- ・ 構造 鉄骨造瓦葺
- ・ 階数 3F
- ・ 延床面積 594.09㎡



■ 宿泊棟

- ・ 構造 木造スレート葺(和室)
- ・ 階数 平屋建×4棟(8室)
2階建×1棟(3室)
- ・ 延床面積 573.24㎡
- ・ 宿泊定員 60名

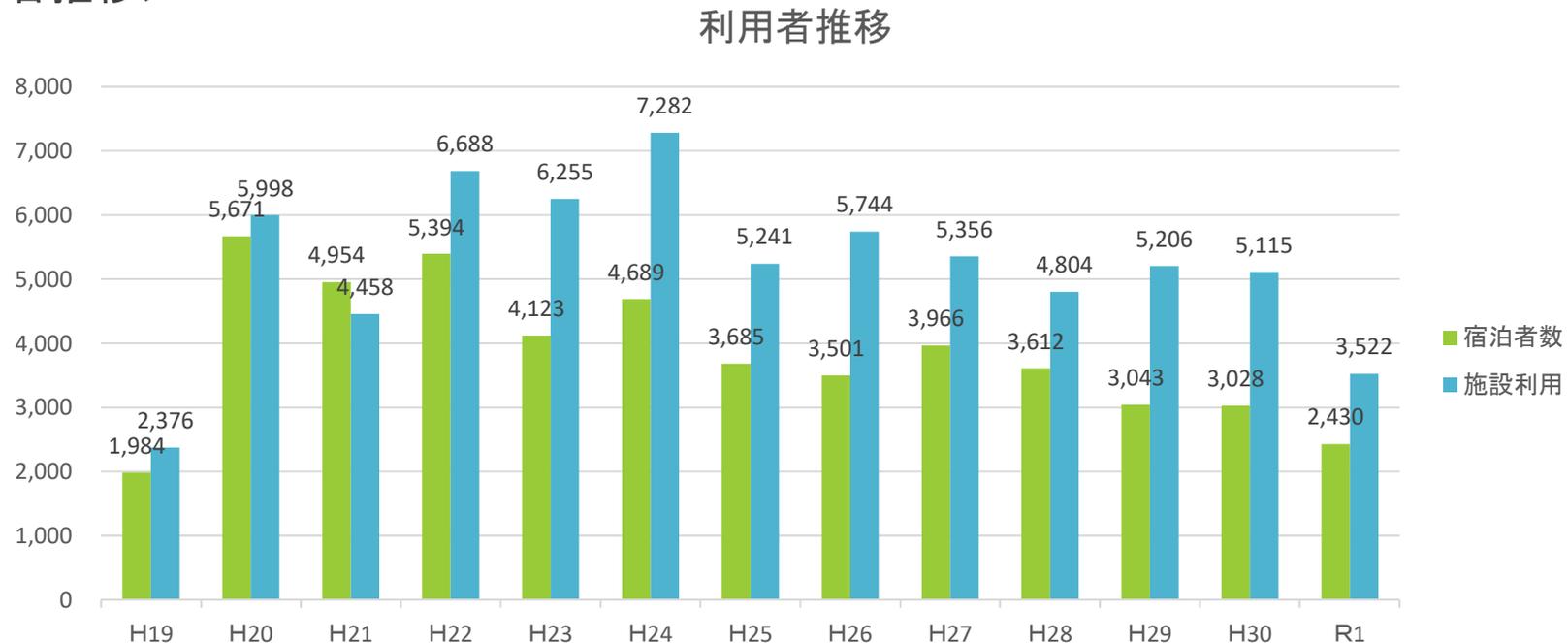


※宿泊料金の設定: 1泊2食 8,800円(税込、大人一人)

<利用者構成>

一般利用: 56.4%	60代以上のシニア層が6割以上を占める
学校関係: 30.3%	10代(学生)、教育旅行に関しては教員利用のため40代~50代が多い
その他: 13.3%	幅広い年代層(民間や行政研修など)

<利用者推移>



祝戸荘及び祝戸地区の位置付け

○昭和45年12月18日／閣議決定

「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について」(抜粋)

2. 環境の整備

飛鳥地方における住民生活の向上を図り、かつ同地方における歴史的風土及び文化財の保存・活用に資するため、次に掲げるところにより環境の整備を促進する。

(4) 公園

明日香村大字島之庄(石舞台)、大字豊浦(甘樫丘)及び大字祝戸(祝戸)に都市計画公園を設置する。

(5) 宿泊研修施設

明日香村大字祝戸に宿泊及び研修のための施設を整備する。

3. その他

(2) 飛鳥地方における歴史的風土及び文化財を保存し、住民生活の向上を図るために、国地方公共団体および民間の一体的協力が必要である。

このため、民間に財団法人の設置を要請し、必要な事業の遂行を期待するものとするが、上記の趣旨にかんがみ、国において所要の助成を行なうとともに、同財源となる民間寄付金については、指定寄付金として取扱うよう措置するものとする。

○昭和46年5月27日／建設大臣決定

「飛鳥国営公園整備方針」

2. 三地区(※甘樫丘・石舞台・祝戸)は、それぞれの特性をいかし、甘樫丘地区については展望および散策、石舞台地区については史蹟鑑賞、祝戸地区については展望および宿泊研修施設の拠点的功能が確保されるよう配慮する。